令和５年度第２回やまぐち部活動改革推進協議会（概要）

日　　時	令和５年７月 31 日（月）１０時００分から１１時４５分
場　　所	県庁３階　職員ホール
構成委員	学識経験者、山口県中学校長会、山口県中体連、山口県高体連、 山口県高野連、山口県中文連、山口県高文連、山口県吹奏楽連盟、 山口県ＰＴＡ連合会、山口県スポーツ協会、山口県都市教育長会、 山口県町教育長会、総合型地域スポーツクラブ山口県連絡協議会
出席人数	１２名（うち１名代理）　欠席２名
主な内容	（１）所管説明　　教育庁　　学校安全・体育課 　　観光スポーツ文化部　スポーツ推進課 １　やまぐち部活動改革推進協議会における意見交換を踏まえた県方針(素案）への反映点について ２　山口県新たな地域クラブ活動の在り方等に関する方針（素案）について （２）推進協議会委員による意見交換 テーマ：「山口県新たな地域クラブ活動の在り方等に関する方針（素案）について」
主な発言	○この年代のスポーツ・文化芸術活動を支えていくことが、延いてはまちづくり、県づくりにも発展する未来志向につながっていく。県方針を踏まえて、市町行政、さらには学校現場がそれぞれの地域の実情や特色を入れ込みながらどう展開するかが課題である。 ○地域移行が進むに当たって、子どもたちが複数の地域クラブ等で活動を行う場合には、自分の健康面や活動のバランスに応じて子どもたちが自分の休養日を保護者と相談して自ら設定するような子どもが主語になった取組も考えられる。 ○活動中の事故やトラブルについて、必要に応じて学校と連携をすることは、とても大切なことであるが、地域指導者と学校の連携について、どのように連携するかの先行事例等があれば良い。 ○部活動が地域の活動に移行された分、学校の本来業務で成果を出していかないと、保護者や地域からの理解はなかなか得られないのではないか。 ○取組を進める中で、教職員や保護者、地域が持っている、昔ながらの部活動のイメージを変えていくことが非常に大きな課題であり、丁寧な背景・趣旨の説明や改革の方向性の周知が必要である。